



OBのつぶやき

教育とは引き出してやることです

鹿児島県PTA連合会 元副会長 海江田 宗順

子育ての現役時代には、この子が将来どんな大人になってくれるかばかりを考えていました。しかし、その子の今を見抜く目が足りなかつたと反省するばかりです。

例えば、子どもが学校から帰ってきたとき一体どんなことを思いながら玄関をくぐって来るでしょうか。たつたそれだけのことすら思つてあげられなかつたのではないか。

「早く帰つて宿題しよう」「何か家のお手伝いをしよう」なんてことは、これっぽちも考えていないことぐらいは分かつてます。

子どもが校門を出たとたん真つ先に感じるのはいただ、強烈な空腹感だけといつてのいいのです。

開放感とともに起こるのは、空腹感なのです。

子どもは、家の敷居をまたぐなり、「ただいま！」と同時に「何かちょうだい」が出るのです。

せつかく、落ち着ける場所に帰つ

てきたのに「何かちょうだい」すら言えない良い子に育ててはいませんか。

「暑かつたでしょう。麦茶が冷えてるよ」で、飲んだ後は、「ああ、美味しかった。宿題済ましとくね」と引き出せるのです。

コロナ下で給食が中止になり子どもが「明日から楽しみ」と言いました。「えっ、どうして」「だって、お弁当を持って行くことになつたから」ぜいたくな弁当が欲しいわけではありませんよね。

